



算盤をもつと

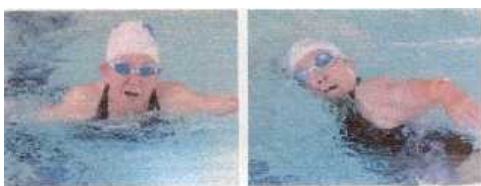


山梨珠算学校

今日(2019年1月7日)は 袋井市上山梨の山梨珠算学校に来ました。
 ここは 太田峯子さん(90歳)が経営する珠算学校です。

太田峯子さんは 浜松市に生まれ、空襲を逃れて森町に疎開し、袋井市に移り住みました。
 1946年(昭和21年)3月に浜松女子商業高校(現在の浜松修学舎中学校・高校)を卒業し、珠算
 学校で指導を始めました。(昭和28年県知事認可所得)
 今も山梨珠算学校(袋井市上山梨)にて小学生に珠算を教えています。珠算指導は74年目に入ります。

「教えた子どもたちは数えきれません。三世代にわたる教え子もいます。珠算を教えつつ、私は子供たちから(元気)をもらい、珠算を教えることを楽しんでます。」とのこと。算盤を持つとピシッと姿勢が決まります。表には 県知事許可の看板「山梨珠算学校」が目を引きまます。



泳ぐ 太田峯子さん

太田峯子さんは もう一つあるスポーツを続けています。
 それは 水泳です。

65歳の時に医者から減量を勧められたことをきっかけにスポーツジムに入り、身体に負担を掛けずに減量ができるということで、水泳を始めました。
 水泳を続けていくと、身体の調子が良くなったと感じ、様々な水泳大会へも挑戦するようになりました。

その一つに、2014年7月には 神奈川県横浜市で開催された「ジャパンマスターズ2014(第31回日本マスターズ短水路水泳選手権大会)」があります。
 全国44都道府県から5836人のスイマーが集まったこの大会の、
 ・自由形50M(85歳～89歳の部)で2位
 ・平泳ぎ50M(85歳～89歳の部)で3位
 で入賞しました。85歳の時です。

また、上記大会以外にも、8年前から自分への挑戦としてJSCA((一財)日本スイミングクラブ協会)マスターズ水泳通信記録会にも参加しています。
 この記録会は、みんなで一緒に泳ぐのではなく、一人で自由形800Mを黙々と泳ぎ続けるので、精神的にはとても苦しいそうですが、前年の記録を是非とも更新したい、ということで、太田さんは必ず参加して

います。



[昨年の賞状](#)



[昨年の賞状](#)

3年前に10年連続参加という記録を打ち立て、今も続けています。

昨年(2018年)7月には 第28回袋井市長杯室内水泳競技大会が開催され、太田峯子さんには下記の表彰を受けました。

- ・女子80代25M平泳ぎ 第1位 大会新
 - ・女子80代25M背泳ぎ 第1位 大会新
- 二つとも大会新です。

太田峯子さんに「なぜ そのようにお元気なのですか?」と聞きますと、次のような回答がありました。「いつも目標を持つことです。そうすれば元気がでます。私は常に目標を持って、3つの言葉(やる気・挑戦・努力)を意識するように心がけています。水泳はもちろん、74年間続けているそろばんの指導も 大変な時はありましたが、いつもこの3つの言葉に勇気づけられてきました。市内に私のような元気な方が増えるとうれしいです。」

今後の目標は何ですか?とお聞きすると、次のような回答がありました。「今年(2019年)9月にジャパンマスタース水泳通信記録会があります。その大会に平泳ぎと自由形で出場し、入賞すること、それが目標です。」

90歳の人生、元気にイキイキ生きていく!

今日も、スポーツクラブにて、毎日、
・ルームランナーで10分、約650M歩く
・プールで200M~300M 泳ぐ
を続けています。

取材をされていて、私も「元気」をいただいたような気がします。

太田峯子さん!

今後とも人生を楽しんでいただきたいと思います。

(磐田:周智地区 生きがい特派員) 戸田孝